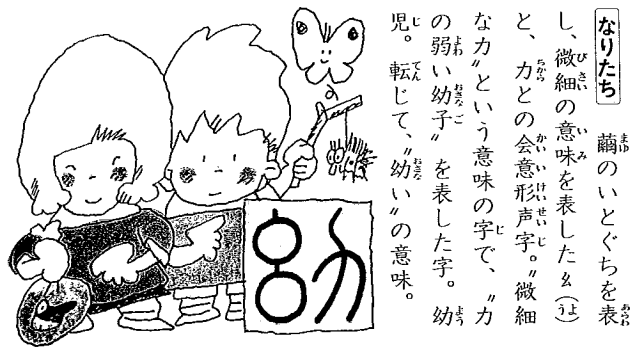


幼

ヨウ
おさない

〔6年〕

5画
く
夕
夕
幻
幼



〔なりたち〕 繭のいとぐちを表し、微細の意味を表した(よ)と、カとの会意形声字。微細な力という意味の字で、「力の弱い幼子」を表した字。幼児。転じて、「幼い」の意味。

〔みとじゆく〕
▼幼い。幼子。
幼少：幼いこと。〔用例〕幼少のころ。

幼年：①幼い年ごろ。〔例〕幼年時代。②幼い子供。

幼時：幼い時。
幼児：幼い子供。
幼女：幼い女の子。
幼童：幼い童。幼児。
幼心：子供心。

幼顔：幼い時の顔立ち。
幼友達：幼い時の友達。
幼虫：卵からかえつて、さなぎや成虫になる前の昆虫。

▼成熟していない。
幼稚：①幼いこと。②未熟で一人前でないこと。〔用例〕稚な考え方。
長幼：年上の者と年下の者。

よみかた
幼魚・幼名



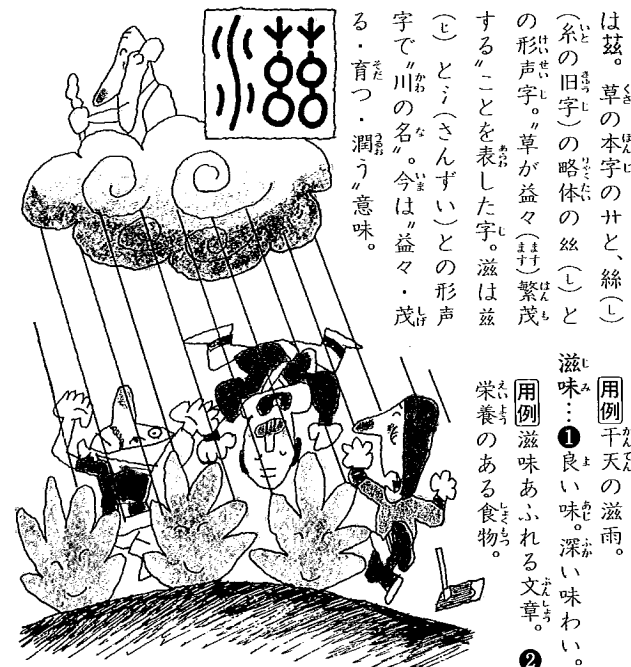
幼 滋

滋

ジ

〔6年〕

12画
シ
シ
シ
シ
滋
滋
滋



〔なりたち〕 旧字体は滋。本字は茲。草の本字の艹と、糸(糸の旧字)の略体の絲(と)の形声字。「草が益々(益々)繁茂する」ことを表した字。滋は茲(じ)と(さんずい)との形声字で「川の名」。今は「益々・茂る・育つ・潤う」意味。

〔みとじゆく〕
▼茂る。育つ。
滋養：体の栄養になること。また、栄養のあるもの。

▼潤う。
滋雨：ちようど良い時に、ほど良く降って、草木を潤す雨。普通は「慈雨」と書く。

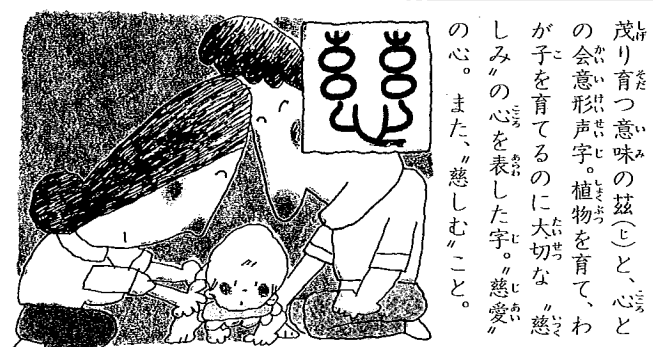
〔用例〕千天の滋雨。
滋味：①良い味。深い味わい。〔用例〕滋味あふれる文章。②栄養のある食物。

慈

ジ

〔6年〕

13画
一
ナ
ナ
慈
慈
慈



〔なりたち〕 旧字体は慈。草が茂り育つ意味の茲(じ)と、心との会意形声字。植物を育て、わが子を育てるのに大切な「慈しみ」の心を表した字。「慈愛」の心。また、「慈しむ」こと。

〔みとじゆく〕
▼慈しむ。
慈愛：慈しみ愛すること。
慈悲：①慈しみ哀れむ心。あわれみ。②仏教で、仏が人々を哀れみ、苦しみを除いて助けようとする心。

慈善：哀れんで情けをかけること。特に生活に困っている人を助けること。〔例〕慈善家
仁慈：慈しみ。恵み。
大慈：すべての人の苦しみを除き、恵みを与える。観世音菩薩(あまのむね)の慈悲。〔例〕大慈大悲

慈父：子供に対し深い愛情を持つ父親。
慈母：子供に対し深い愛情を持つ母親。
慈雨：ほどよく草木を潤す雨。日照りの時の雨。〔用例〕千天の慈雨。

慈母：子供に対し深い愛情を持つ母親。
慈雨：ほどよく草木を潤す雨。日照りの時の雨。〔用例〕千天の慈雨。

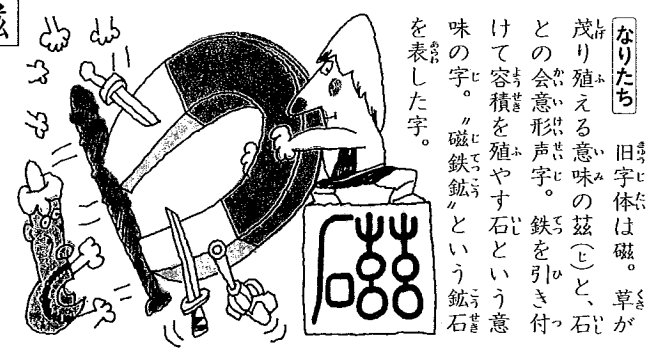
慈 磁

磁

ジ

〔6年〕

14画
一
石
石
石
磁
磁



〔なりたち〕 旧字体は磁。草が茂り殖える意味の茲(じ)と、石との会意形声字。鉄を引きつけて容積を増やす石という意味の字。「磁鉄鉱」という鉱石を表した字。

〔みとじゆく〕
▼鉄を引きつけ、南北を指す性質を持つ鉱石。磁鉄鉱。
磁石：①鉄を引きつける性質を持つ物質。②方位を測る器械。磁力を持つ石の意味。

磁針：中央で支え、自由に動いて南北を指し示す、小型の磁石。
▼磁石の両極の引き合う力。
磁気：①磁石が鉄を引きつける性質や、磁石の異極が互いに引きつけ合ったり同極が反発し合ったりする性質

②磁石と電流との作用。
磁力：磁気的作用の強さ。
磁場：磁力の作用する場所。
▼焼き物のうち、陶器より堅い、きめの細かいもの。
磁器：焼き物の一種。上質の材料を高熱で焼いたもの。
青磁：青緑色の釉薬(うぐす)を塗って焼いた磁器。

青磁：青緑色の釉薬(うぐす)を塗って焼いた磁器。